

## 「敷島らしさ」を憲章に反映させるための対応(案)

・若者ワークショップやアンケート調査結果を踏まえ、「敷島らしさ」が際立つキーワードを追加

- ①若者ワークショップ
- ②地域ニーズアンケート
- ③敷島憲章アンケート



【キーワード】

松林 ばら園 敷島公園 利根川 スポーツ 配水塔(浄水場のタンク) 文化 自然

ただし、世界の著名な公園(ハイライン、グズラインなど)における憲章は、市民の行動目標を抽象的に表現しており、敷島憲章もこの思想を参考とし、最小限の見直しにとどめている

## — 敷島憲章(案) —

歴史と伝統に培われた自然豊かな敷島公園で、園内の各種施設を結びつけ、にぎわいと健やかな体験、世代を超えたコミュニケーションが生まれる新しい交流拠点を構築します。誰もがにひらかれ、こころも体も満たされ、多様な幸せと慈しむ心を感じられる場。新しい時代の豊かさの象徴として、地域への愛着や誇りを育み、次の世代に継承し、進化し続けることを願い、ここに憲章を定めます。

### 1 訪れる人が地域とつながるスポーツと交流の場をつくる

公園を訪れる多様な人々が、地域の自然や文化に触れ、世代を超えた交流が生まれる拠点を包括的に育てていきます。

### 2 こころも身体も元気になれる ひらかれた共創の場をつくる

誰ひとり取り残されることなく、心身共に健康になれる場を多様な立場の人々と共に生み出していきます。

### 3 地域への愛着や誇りを育み 暮らしの価値向上をめざす

地域を思い、主体的に参加することで、愛着や誇りが生まれ、活力あふれるまちの暮らしや、新しい価値が形成されていきます。

### 4 利根川に接し、赤城、榛名を望む 敷島の風致を次の世代に継承する

先代から受け継いだ、利根川の松林や雄大な山々の景観を守り、次の世代へと大切に受け継いでいきます。

### 5 いのちの源として緑と水源を慈しみ未来へ持続させていく

古くから地域の資産であるいのちの源を慈しみ、美しい水と緑の豊かな自然を次世代へと継承します。

### 6 環境を活かし潤いにつつまれたまちのシンボルを育む

恵まれた豊かな自然環境を活かし、人々があたたかく憩う場は世代を超え、まちのシンボルとして長く愛されていきます。

【ハイライン（ニューヨーク／アメリカ）】

廃線跡を緑の遊歩道に再生し、地域の価値向上に寄与した空中公園

- 1 つながりを作る、より豊かな近隣住民と関係とまち、という公共の場の役割
- 2 使われなくなった鉄道線路の再利用
- 3 生態系の持続可能性
- 4 街の再生
- 5 アート、パフォーマンス、食事、人とのつながりを享受することができる



【ザ・グッズライン（シドニー／オーストラリア）】

線路跡地を公園機能を組み込んで再生した地域コミュニティ憩いの場

- 1 アート、パフォーマンス、お祭り、人とのつながりを享受することができる
- 2 使われなくなった鉄道線路の再利用
- 3 勉強や運動のできる環境整備
- 4 つながりを作る、より豊かな近隣住民関係とまち、という公共の場の役割
- 5 街と街、芸術、教育、文化施設を繋ぐことで市民生活を向上させ、孤立した都市を1つにまとめる



## 【検討事項】

- ・ 敷島エリアグランドデザイン「デザインガイド編」のマスターデザインの骨格となる「マスターデザイン策定方針」を決定する

### 1. 敷島エリアグランドデザインとは

将来(50年先までを想定)の敷島エリアの価値を向上させるための「あるべき姿」を示し、今後のまちづくりや公園の整備・保全の指針（群馬県と前橋市が共同で策定）

#### 敷島エリアグランドデザイン概念図

#### 基本構想編

**将来像(案)**  
自然風景と行き交う人々の日常を感じながら歩く  
訪れるだけで誰もが元気になる場

**コンセプト(案)**  
公園の概念を超えた超公園  
**Shikishima Well-Park**  
敷島ウェルパーク

**敷島憲章(案)**  
将来像およびコンセプトをわかりやすい言葉で表現

- 1 訪れる人が地域とつながるスポーツと交流の場をつくる
- 2 こころも身体も元気になれる ひらかれた共創の場をつくる
- 3 地域への愛着や誇りを育み 暮らしの価値向上をめざす
- 4 利根川に接し、赤城、榛名を望む 敷島の風致を次の世代に継承する
- 5 いのちの源として緑と水源を慈しみ未来へ持続させていく
- 6 環境を活かし潤いにつつまれたまちのシンボルを育む

#### デザインガイド編

**マスターデザイン**  
・ マスターデザイン策定方針（案）  
・ エリア全体の将来イメージ(50年先)

**デザインコード**  
景観デザイン等の考え方・ルール

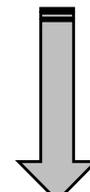
### 2. R5スケジュール

#### マスターデザイン 策定方針（案）の決定

**現状分析・取り巻く動向**  
(地形や植生、歴史、利用状況等の現状分析と取り巻く動向を整理)

**地域ニーズ把握**  
**アンケート・若者ワークショップ**  
(50年先を見据えた、敷島エリアの大切にしたいこと、Well-beingとして重視していること、将来の活動ニーズ等の把握)

**考慮すべき事項の整理**  
(継承すべき事項、改善すべき事項、期待されている事項を整理し、マスターデザイン策定方針へ反映)



本日(第2回)  
(R5. 8月21日)

- ・ マスターデザイン案の決定  
(※市民参加の仕組み含む)
- ・ デザインコード案の決定

第3回予定  
(R5. 10月中旬)

マスターデザイン案の公表

## 現状分析・取り巻く動向

### 現状分析

- ◆**地形や植生**  
主な植生はアカマツ植林/低い段丘/旧河道/造成地/河川敷で構成
- ◆**歴史**  
親しまれる松林・利根川・上毛三山の眺望という風致を重視した本多静六の設計、時代に合わせて運動施設を専化・拡張し、群馬県のスポーツの歴史を紡いできた
- ◆**利用状況**  
施設稼働率は休日は高いが、平日は低い/利用者は前橋市民が多い/平日は高齢者、休日は中高生以下の比率が高い
- ◆**地域資源**  
緑や花の名所/文化財（旧配水塔・水道資料館・蚕糸記念館）/上毛三山や利根川を望む立地/地域独自の豊かな資源を有する
- ◆**土地利用**  
出入口の駐車場配置/正面性のない運動施設の集中/道路によるエリア分断/敷地内の移動手段の乏しさ
- ◆**法規制等からみた整備条件**  
地震・火災時の指定緊急避難場所且つ浸水想定エリア/用途地域内における建築物の用途制限・敷島風致地区/文化財保護/浄水場の立入制限

### 取り巻く動向

- ◆**社会的動向**  
人口減少・高齢社会の進展、激甚化する気候変動や環境問題への対応、税収減による公共整備の限界を見据えたまちづくりの必要性
- ◆**思考の変化**  
GDP(国内総生産)からGDW(国内総充実)へWell-being意識の高まり
- ◆**群馬県の目指す姿**  
年齢や性別、国籍、障害等にかかわらず、全ての県民が、誰一人取り残されることなく、自らが思い描く人生を、幸福を実感できる自立分散型社会
- ◆**前橋市の目指す姿**  
前橋市のビジョン「めぶく。」のもとに掲げられた「デジタルグリーンシティ」では「前橋市街地エリア」「敷島エリア」「赤城山エリア」の3つを組み合わせる新たな価値を創造  
まちづくりの動きとして、市街地エリアにおける、Green&Relax構想の実現、まちなかの民間主体のまちづくり活動、「めぶくID」などICT等への取り組みの進展と連携
- ◆**今後の都市公園像**  
管理運営の担い手の拡大・民間事業者の参画促進、グリーンインフラとして保全・利活用

### 継承すべき事項

- ◆本多静六により松林や水辺の設計理念
- ◆時代に合わせて専化と拡張をしてきた運動施設
- ◆これまで蓄積されてきた群馬県のスポーツ文化
- ◆親しまれる松林・利根川・上毛三山の眺望という風致
- ◆緑や花の名所、旧配水塔・水道資料館・蚕糸記念館の文化財

### 改善すべき事項

- ◆道路による公園内施設及び利根川との分断
- ◆正面性のない運動施設配置
- ◆閉鎖的な運動施設
- ◆敷島エリア内の移動手段の乏しさ

### 期待されている事項

- ◆各種法的制約への対応

### 継承すべき事項

- ◆ —

### 改善すべき事項

- ◆ —

### 期待されている事項

- ◆激甚化する気候変動や環境問題に対応した環境づくり
- ◆Well-beingな公園づくり
- ◆誰一人取り残されることなく、全ての県民が利用できる公園づくり
- ◆前橋のまちづくりとの連携
- ◆デジタル技術の活用
- ◆グリーンインフラとしての保全・利活用

## 地域ニーズ把握

### 地域ニーズ（アンケート、若者ワークショップ）

- ◆ **魅力や資源**
  - ・ 松林、ばら園、ボート池周辺等の豊かな自然環境、旧配水塔等の文化財、各種スポーツ施設とその歴史、家族や友人との日常的な思い出の場
- ◆ **改善点**
  - ・ 開かれたスポーツ施設への転換、エリア内園路の周遊性の向上、公園内及び公園と利根川の道路による分断解消、周辺景色の眺望改善、ボート池の水質改善、交通環境の改善
- ◆ **新たな利用や過ごし方のニーズ**
  - ・ 休憩施設、飲食施設の拡充（キッチンカーやマルシェなどの定期開催等）
  - ・ 老若男女のサードプレイス
  - ・ 松林などの自然環境や敷地を活かした文化や芸術の活動の場
  - ・ 暮らしの楽しみとなる日常的なプログラムの開催
  - ・ 多世代が気軽に楽しめるスポーツや健康づくりの場、気軽な日常スポーツの場
  - ・ 園路におけるスローモビリティ等のデジタル技術の活用
  - ・ 自然、芸術、スポーツ、食など地域の特色を生かした敷島エリアならではの体験イベント
  - ・ 市民が出店できる貸店舗やフリーマーケットなど市民主体の活動の場
  - ・ 子どもの遊び場やワークスペースの拡充
  - ・ 豊かな自然環境の保全と利活用

### 継承すべき事項

- ◆ 松林、ばら園を含めた豊かな自然環境
- ◆ 旧配水塔等の前橋のシンボルとなる文化財
- ◆ 各種スポーツの大会や観戦の場として利用されてきた施設とその歴史
- ◆ 広く県民に親しまれる場所

### 改善すべき事項

- ◆ 上毛三山、利根川等の周辺景色の眺望
- ◆ 閉鎖的な運動施設、園路の周遊性
- ◆ 道路による分断

### 期待されている事項

- ◆ 休憩施設、飲食施設の拡充
- ◆ 暮らしの楽しみとなる日常的なプログラムの開催
- ◆ 老若男女のサードプレイスの場
- ◆ 自然、文化、スポーツ、食、芸術等の敷島ならではの体験イベントの開催や活動の場
- ◆ スローモビリティ等のデジタル技術の活用
- ◆ 市民主体の活動の場
- ◆ 子どもの遊び場やワークスペースの拡充

「現状分析・取り巻く状況・地域ニーズ把握」より、  
マスターデザイン策定方針を検討する上での「考慮すべき事項」として整理

## 考慮すべき事項の整理

### 継承すべき事項

#### 松林や水辺に象徴される敷島エリアの風致

- ・公園設立から現在に至るまで広く県民に親しまれる場所
- ・松林や水辺は本多静六の設計理念

#### 地域産業や水道事業の歴史を伝える文化財

- ・旧配水塔、水道資料館、蚕糸記念館は文化財の継承と魅力の発信
- ・旧配水塔などのシンボル性

#### 競技スポーツの場としての歴史的経緯

- ・競技スポーツの大会や観戦の場として利用されてきた歴史
- ・地域におけるスポーツの場として機能

### 改善すべき事項

#### まちと公園との分断（出入口の駐車場や高い壁や柵に覆われた運動施設）

- ・公園への期待感、高揚感を高める工夫

#### エリア内の分断（公園と河川敷、浄水場、水産試験場との分断）

- ・歩行者動線の確保、園内スローモビリティ等の導入検討により、エリア全体の周遊性の向上

#### 統一感のない閉鎖的なスポーツ施設

- ・日常スポーツ利用や食・芸術・文化等と組合せた利用
- ・開かれた施設への転換、一貫性のある施設配置

#### 山や川との繋がりの希薄化

- ・榛名山、赤城山、利根川への眺望や、利根川とのつながりを感じられる空間や体験の場の創出

### 期待されている事項

#### 気軽に立ち寄れる休憩や飲食機能の拡充

- ・カフェ、キッチンカー、マルシェの定期開催
- ・散歩や遊びのついでに立ち寄れる休憩・飲食機能の拡充

#### サードプレイスの創出

- ・子どもの遊び場、ワークスペース、日常的なプログラムの実施
- ・地域の人の心豊かな生活を支える居場所、サードプレイス

#### 敷島エリアならではの体験の提供

- ・自然・文化・スポーツ・食・芸術等の豊かな地域資源を活かした敷島エリアならではの体験
- ・地域の自然や文化にふれあう機会の創出

#### 市民が主体的に使いこなす場づくり

- ・市民ができる貸店舗や松林、園路、壁を使った文化・芸術活動等、市民が主体的に使いこなせる場

#### 前橋のまちづくりとの連携

- ・前橋市で進むデジタルグリーンシティのICT等の取組
- ・前橋中心市街地で先行する民間主体のまちづくりの動きとの連携

#### 社会インフラとしての機能発揮

- ・公園や緑地の、都市の身近な自然環境、エコロジカルネットワーク拠点としての役割の継承・発展
- ・激甚化する気候変動や環境問題に対し、よりレジリエンスな環境づくり

#### 柔軟な利活用に向けた法的制約との調整

- ・将来の社会動向やライフスタイルの変化に適応した公園の柔軟な利活用推進
- ・法的制約についてニーズに応じた長期的な視点の調整

## マスターデザイン策定方針（案）

### みんながつながる公園

#### キーワード

- 広く県民に親しまれる場所
- 歩行者動線の確保と周遊性の向上
- 公園への期待感、高揚感の向上

緑や安全で快適な園路で公園内の周遊性や利根川との一体性を創出し、周囲の緑や歩行空間とつなぐことで、敷島エリアのWell-beingなまちづくりを市街地に広げていく

### 多様な生活スタイルの創造

#### キーワード

- 多世代の居場所づくり
- レジリエンスな環境
- 市民が主役の公園運営
- 地域資源を活かした体験
- 多様な利用シーンの創出
- まちづくりとの連携
- 公園の柔軟な利活用推進
- 開かれた施設への転換

多様な文化や価値観を尊重し、市民が参画できる公園プロジェクトを推進し、多様な利用シーンや多世代の居場所が生まれるWell-beingな公園空間を地域と連携し実現する

### 持続可能な環境づくり

#### キーワード

- エコロジカルネットワーク拠点
- 自然環境の保全
- 激甚化する気候変動や環境問題
- デジタル技術の活用と発展

公園空間に緑地や自然環境、環境に配慮したデザインや環境負荷軽減の取り組みとともに、防災機能の強化、デジタル技術を積極的に取り入れ、持続可能な公園空間を実現する

### 歴史の継承・発展

#### キーワード

- 風格ある樹林の継承
- 文化財の継承・魅力の発信
- 豊かな水の風景の継承
- 運動施設の機能の継承
- 利根川・上毛三山の魅力と体験の場

利根川や上毛三山の風景、松林やスポーツなどの歴史的な価値や文化、風致を尊重し、独自の魅力を持つ公園空間を創出する

### 群馬県のシンボル形成

#### キーワード

- 四季折々の表情が楽しめる空間づくり
- 一貫性のある施設配置
- 既存施設のシンボル性の認識

公園内の建築物、植栽など一貫性のあるデザインと四季折々の変化のある美しい景観を形成することで、群馬県を代表するシンボルとなる

## マスターデザイン策定方針（案）

### みんながつながる公園

緑や安全で快適な園路で公園内の周遊性や利根川との一体性を創出し、周囲の緑や歩行空間とつなぐことで、敷島エリアのWell-beingなまちづくりを市街地に広げていく

### 多様な生活スタイルの創造

多様な文化や価値観を尊重し、市民が参画できる公園プロジェクトを推進し、多様な利用シーンや多世代の居場所が生まれるWell-beingな公園空間を地域と連携し実現する

### 持続可能な環境づくり

公園空間に緑地や自然環境、環境に配慮したデザインや環境負荷軽減の取り組み、デジタル技術を積極的に取り入れ、持続可能な公園空間を実現する

### 歴史の継承・発展

利根川や上毛三山の風景、松林とスポーツなどの歴史的な価値や文化、風致を尊重し、独自の魅力を持つ公園空間を創出する

### 群馬県のシンボル形成

公園内の建築物、植栽など一貫性のあるデザインと四季折々の変化のある美しい景観を形成することで、群馬県を代表するシンボルとなる

## 敷島憲章（案）

- 1 訪れる人が地域とつながる  
スポーツと交流の場をつくる
- 2 心も身体も元気になれる  
ひらかれた共創の場をつくる
- 3 地域への愛着や誇りを育み  
暮らしの価値向上をめざす
- 4 利根川に接し、赤城、榛名を望む  
敷島の風致を次の世代に継承する
- 5 いのちの源として緑と水源を慈しみ  
未来へ持続させていく
- 6 環境を活かし潤いにつつまれた  
まちのシンボルを育む